

新治中部地区

新治中部地区別計画推進策定委員会

地域 台村町、森の台、寺山町、中山1～6丁目、上山1～3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

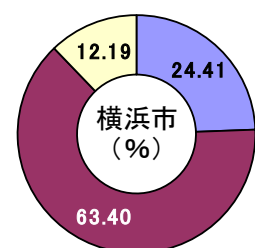
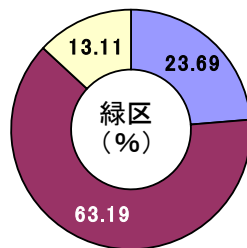
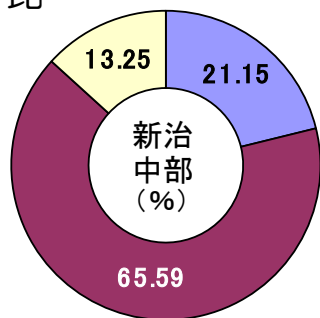
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



75歳～	3,519人
65～74歳	3,552人
15～64歳	21,927人
6～14歳	2,817人
0～5歳	1,614人
合計	33,429人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

地区別計画推進策定委員会の開催状況

第1回

令和元年8月22日

10:00～11:30

中山町自治会館

- ・第3期計画の振り返り
- ・子ども・子育て世代の声を集めるために
- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組について

通信No.18 発行

第2回

令和2年2月20日

9:30～11:30

寺山町自治会館

- ・第4期地区別計画～これからの新治中部地区に必要な取組について～（グループワーク）
- ・子ども・子育て世代の声を集めるための取組について

通信No.19 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



新治中部地区

台村町・森の台・寺山町・中山町・上山の5つの町で構成



防犯・防災に強い、次世代につながるまちをめざして！

新治中部地区では、第3期計画で大きく2つの目標を掲げて、まちづくりに取り組んでいます。

「第7回 防犯・防災キャッチフレーズ」 & 「第21回 新治中部ふれあいフェスティバル」



地域の防犯・防災意識を高めていく取組として、地域の小・中学生を対象として、キャッチフレーズとなる標語を募集しています。

平成25年度から始まり7回目を迎えた今年度も566件という多くの標語が集まり、最優秀4作品を含む39作品が入選作品として選出されました。入選作品については「地域ふれあいフェスティバル」で表彰式を行いました。

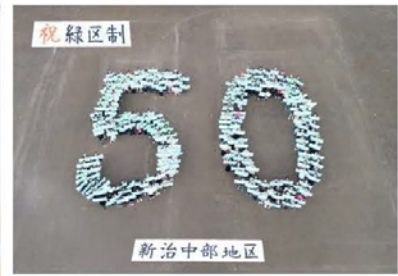
また、フェスティバル当日には、区制50周年をお祝いして、参加者で「50」の文字をつくってドローンで撮影をしました。今後も、フェスティバルを通じて、次世代を担う子どもたちの「健全育成」、そして「ふるさとづくり」につなげていきます。



▲ 最優秀作品をまとめたポスター



▲ ふれあいフェスティバルの様子 ▲



子ども・子育て世代への調査実施に向けて検討中 ～次世代につながるまちづくりをめざして



「子どもたちに新治中部にもっと興味や愛着を持ってほしい。それが将来の新治中部の活力につながる」というテーマで、過年度から議論が進められてきましたが、今年度は地域全体で子どもたちの健やかな育ちを見守っていくために、子ども自身や親世代など、もっと多くの声を集めていく調査の実施を検討しています。実施に向けて専門部会を立ち上げて議論を進めています。



▲ 地区別計画推進策定委員会の様子

新治中部地区別計画推進策定委員会



新治中部地区別計画推進策定委員会
令和元年10月発行 第3期No.6 (通算No.18)



新治中部地区別計画推進策定委員会 通信

第1回委員会を開催し、
計画の振り返りを踏まえた今年度の取組を検討しました！

令和元年8月22日(木)に、「第1回新治中部地区別計画推進策定委員会」を中山町自治会館にて開催しました。
今回は第3期計画でこれまで取り組んできたことの振り返りを行うとともに、今年度の防犯・防災キャッチフレーズの取組について議論を進めました！



「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画とは？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

緑区では11連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

～新治中部地区別計画2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい



この2つを
目標に、取組を
進めています！



第3期計画の振り返りについて～意見の一部を紹介します。

石井委員及び古内委員から、これまでの取組を目標に沿って紹介していただきました。
参加者からはそれに対する意見を募りました。

- 子どもの自尊感情を高めるには、「ほめる」ことが良いと一般的に言われるが、共通体験（盆踊り、お祭りなど）・共感を積み重ねていくことが大切であるとも言われている。防犯・防災キャッチフレーズについては地域のことを考える良い機会になっている。
- 防犯に関連して、児童をどのように守っていくか関心が高まっている。緊急事態の際には、民生委員・児童委員の皆さんが下校を見守ってくれることもあり、ありがたく感じている。
- 登下校の見守りをより良くしていくために、スクールガード・学援隊と話し合いの場も設けて、具体的な取組を検討していきたい。
- 今後取り組みを続けながら、子どもも地域の方を知ることが大切だと感じる。挨拶等を通じて関係性を構築することで防犯・防災の意識も高まっていくのでは。
- 一方で、子どもが自分から挨拶しているのに対して、大人は自ら挨拶をするという意識が低いのではないか。子どもが笑顔になるためには大人も笑顔になる。
- 自治会同士でも情報交換の場を設けて、良い取り組みは共有して課題は一緒に解決していきたい。



▲ 石井委員
(地区社会福祉協議会事務局長)



▲ 古内委員
(民生委員・児童委員)

今後の取組について

「次世代につながるまちづくり」をテーマに平成30年度第2回委員会では学校の校長先生方から、子どもを取り巻く現状についてお話をいただきました。それを受けて、委員会では次のような一幕がありました。(以下、通信第3期No.5の記事を抜粋)

委員のお話から

- ・夏休みや春休みなど、地域のサロンなど、子どもが来てもらえたら嬉しい場もある。学校で一緒に同じできたらいい。
- ・共働き世帯も増えたり、時代が変わる中で、祖父母で子どもを見守り、育てていくためには、支える側だけでなく、当事者の子ども・親世代・保護者の声も聴いて、保護者の生活感や子どもの思いを受け取っていくことが必要。その意見を橋の連携で実現していかたい。

「できていること」と、「できたらいい」はたくさんあります。
子どもたちが本当に必要としている支援を図るために→

来年度は、新治中部の子どもたち、親世代の声を集めていきます！

これを受けて、今年度、子どもたち又は親世代の声を集める取組を委員会として行います。具体的には、調査に係る専門部会を設立して検討を進めていく予定で、詳細は今後決定します。

地域にお住まいの皆様にご調査協力のお声がけをさせていただいた際には、ぜひご協力をお願いします。



▲ 副委員長
(地区社会福祉協議会会長)

防犯・防災キャッチフレーズ

今年度もたくさんのご応募ありがとうございました！

今年度も地区内の小学校3校(中山、上山、森の台)、中山中学校の児童・生徒を対象に「防犯・防災キャッチフレーズ」の募集を行いました。募集の結果、合計566件もの応募をいただきました。

選考委員会で選出された最優秀表彰作品については、ふれあいフェスティバルでの表彰の後、ポスターが地区内の各自治会掲示板等に掲示されます。



＜新治中部地区別計画推進策定委員会 議決団体等＞
 連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司児童委員、青少年指導員、老人会、食事会、子ども育成会、小学校、中学校 計38名

＜連絡先＞新治中部地区別計画推進策定委員会事務局
 緑区福祉保健課長 TEL：930-2352



新治中部地区別計画推進策定委員会
令和2年3月発行 第3期 No.7 (通算No.19)

新治中部地区別計画推進策定委員会 通信

第2回委員会を開催し、
次期計画の策定に向けて重点取組を検討しました！

令和2年2月20日(木)に、「第2回新治中部地区別計画推進策定委員会」を寺山町自治会館にて開催しました。今回は次期計画の策定に向けて、重点的に取り組んでいく必要のあることについて意見交換するとともに、今年度の防犯・防災キャッチフレーズの取組報告をしました！



「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画とは？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

緑区では11 連自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

～新治中部地区別計画 2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい



この2つを
目標に、取組を
進めています！



次期計画で重点的に取り組むこと ～意見の一部を紹介します。

【防犯・防災に強いまちづくり】

- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組については、子が親と話し合う機会になり、意識醸成にもつながっている。
- ・実際に災害が起きたら互いに支え合えるように、防災訓練の機会に小・中・高生など若い世代が参加することも必要だろう。
- ・外国につながる住民との共生を目指して、防犯・防災活動などに参加してもらえるように取り組んでいく必要があるだろう。



【顔の見える関係づくり】

- ・特に災害時に地域での助け合いが必要となることを想定すると、日頃から顔の見える関係づくりのために、近所付き合い、声かけ、地域活動への参加が大切である。
- ・防犯パトロールなどゆるやかな見守り活動を行うことは、地域の方と顔見知りになることができ、お互いの信頼感や安心感につながるので継続していくべき。
- ・防災訓練の際に、一人暮らし高齢者や白いリボンを玄関先に掲げていないお宅を訪問して、支援が必要な方との関係づくりを行っており、今後も継続していく。

【次世代につながるまちづくり】

- 子ども・子育て世代から高齢世代までの世代を超えた交流が必要である。おまつりや運動会、防災訓練など全員参加型のイベントを継続するとともに、参加者同士がつながりを深めることのできる取組が必要だろう。スタッフ側でも参加しやすくなるように役割のコンパクト化、明確化が肝要である。
- 子どもが参加することで、保護者も参加しやすい。若い世代や子どもが遊び感覚で参加できる工夫が必要である。
- 若い世代が活動の情報を入手できるよう、学校と地域が連携して発信や、SNSの活用などが必要である。



委員の皆さんからいただいた様々な意見を踏まえると、新治中部地区は「防犯・防災に強いまち」、「子ども・高齢者の見守りなど顔の見える関係づくり」、「次世代につながるまち」などがとても大切なテーマとなると思います。第4期計画の策定にあたっては委員の皆さんの意見も踏まえて、検討を進めていきたいと思っています。



▲ 臼井委員長
(地区連合自治会長)

子ども・子育て世代向け調査を実施予定です！

「次世代につながるまちづくり」をテーマに、子どもや子育て世代の皆さんが地域活動にどのようなことを期待しているのかを確認するために調査を行うことを検討しています。

具体的な調査の手法や内容について検討をしている調査部会（委員：自治会、地区社協、主任児童委員、子育て支援有識者等）から、現在の検討状況について報告がありました。

今後、地域の皆様に調査を行い、その結果を踏まえて次期計画への反映を検討していきます。

春以降には調査を実施できるよう準備を進めます。ぜひ調査のお声がけした際にはご協力をお願いします。



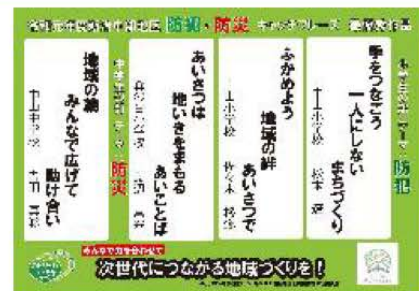
▲ 喜代永副委員長
(地区社会福祉協議会会長)

防犯・防災キャッチフレーズ

今年度の最優秀作品がまちに掲示されています！

今年度も地区内の小学校3校（中山、上山、森の台）、中山中学校の児童・生徒を対象に「防犯・防災キャッチフレーズ」の募集を行い（応募件数566件）、選考の結果、4つの最優秀作品を選出して、ポスターを地区内の各自治会掲示板等に掲示しています。

また、優秀作品として選出された児童・生徒の皆さんには、令和元年10月27日（日）の地域ふれあいフェスティバルで表彰を行いました。



▲ 令和元年度 最優秀表彰作品ポスター

＜新治中部地区別計画推進策定委員会 構成団体等＞
連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、老人会、食事会、子ども育成会、小学校、中学校 計37名

＜連絡先＞新治中部地区別計画推進策定委員会事務局
緑区福祉保健課長 TEL：930-2352